



平成 27 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 2 月 13 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(5800)4907
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 9 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 9 月期第 1 四半期	1,161	65.8	59	44.6	80	418.6	53	698.6
26 年 9 月期第 1 四半期	700	—	41	—	15	—	6	—

(注) 包括利益 27 年 9 月期第 1 四半期 57 百万円 (749.8%) 26 年 9 月期第 1 四半期 6 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27 年 9 月期第 1 四半期	0	69	0	65
26 年 9 月期第 1 四半期	0	10	0	09

※ 平成 25 年 9 月期第 2 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 26 年 9 月期第 1 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 9 月期第 1 四半期	11,862	—	10,531	—	88.7	—
26 年 9 月期	11,280	—	10,445	—	92.5	—

(参考) 自己資本 27 年 9 月期第 1 四半期 10,517 百万円 26 年 9 月期 10,432 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27 年 9 月期	—	—	—	—	—	—
27 年 9 月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 27 年 9 月期の連結業績予想 (平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	4,722	55.0	77	△45.3	256	34.0	175	48.8	2	26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	80,082,800株	26年9月期	77,945,300株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	150株	26年9月期	150株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	78,586,889株	26年9月期1Q	70,459,491株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年10月1日～平成26年12月31日)におけるわが国の経済は、政府主導の経済政策や日本銀行の金融緩和政策により、企業業績の改善、雇用情勢の改善がみられ景気は緩やかな回復基調で推移しております。一方で消費税増税に伴う個人消費の不振等、取り巻く環境は依然として不安定な状況にあります。

当社グループの主力事業であるヘルスケア業界は、高齢社会の進展とともに、中高年齢層を中心とした健康維持・増進、美容・アンチエイジング、エイジングケアへの高い意識を背景に、特に通信販売を中心に市場規模を拡大しております。一方、参入企業の増加や低価格化により企業間の競争は厳しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、当社グループ独自の食品、化粧品素材である「ユーグレナ(和名:ミドリムシ)」の知名度の向上に努め、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、「ユーグレナ」を利用したバイオ燃料の開発、「ユーグレナ」の食品としての新機能性解明、低コスト化へ向けた「ユーグレナ」自体の改良技術に関する研究開発活動を継続しました。

当第1四半期連結累計期間は、自社製品の販売が順調に伸長し、売上高は1,161,658千円(前年同四半期比65.8%増)となりましたが、同時に研究開発活動等の先行投資を加速させた結果、営業利益は59,605千円(同44.6%増)、経常利益は80,850千円(同418.6%増)、四半期純利益は53,883千円(同698.6%増)となりました。

なお、前第1四半期連結会計期間から当第1四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下の通りです。

	前第1四半期 連結会計期間	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間
売上高(千円)	700,670	752,455	731,163	862,058	1,161,658
営業利益(千円)	41,207	18,817	25,473	56,820	59,605
経常利益(千円)	15,590	35,128	70,344	70,418	80,850

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業の食品分野においては、前連結会計年度から継続して、高利益率の自社製品販売の強化を主目的とし、広告宣伝活動及び自社製品の販売体制の強化に努めております。また、大手食品メーカーと商品開発を実施し、コンビニエンスストア及び大手食品スーパーへの商品提供を行うことで「ユーグレナ」という食品素材をより身近なものとし、知名度を向上させる活動を継続しております。

ヘルスケア事業の化粧品分野においては、自社の化粧品ブランド「B. C. A. D.」がジュピターショップチャンネルや全国の百貨店、バラエティショップ等に導入されるなど、好調なスタートとなりました。また、美容卸を中心に販売数を拡大しております。

ヘルスケア事業の研究開発においては、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」における研究開発課題「未利用藻類の高度利用を基盤とする培養型次世代水産業の創出に向けた研究開発」の研究開発機関として選定されました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は1,161,520千円(前年同四半期比66.1%増)となり堅調に推移しておりますが、自社製品販売の顧客獲得のため広告宣伝費を積極的に投入し、セグメント利益は239,953千円(同54.6%増)となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット燃料開発を中心に研究開発活動を継続しており、文部科学省所管の独立行政法人科学技術振興機構が実施する「戦略的創造研究推進事業」、経済産業省所管の独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する「戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業」、経済産業省が実施する「戦略的基盤技術高度化支援事業」の委託事業に係る研究開発を行っております。

当第1四半期連結累計期間において、新たに内閣府の「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)」における研究開発プログラム「セレンディピティの計画的創出による新価値創造」の研究開発機関として選定されました。

当第1四半期連結累計期間は、DeuSELプロジェクト関連による売上高137千円(前年同四半期比90.5%減)を計上しておりますが、主にバイオジェット燃料開発を目的とした研究開発活動により、セグメント損失は20,735千円(前年同四半期はセグメント損失30,750千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は11,862,927千円となり、前連結会計年度末と比較して582,645千円の増加となりました。

負債は、未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末から496,913千円増加し、1,331,897千円となりました。

純資産は、前連結会計年度末から85,731千円増加し、10,531,030千円となりました。この結果、自己資本比率は88.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益ともに計画通りに進捗しております。

平成26年11月13日「平成26年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,346,041	6,156,006
受取手形及び売掛金	478,636	641,728
有価証券	—	361,205
商品及び製品	322,026	206,181
原材料及び貯蔵品	89,907	190,845
繰延税金資産	32,348	32,257
その他	51,637	42,739
貸倒引当金	△7,007	△2,442
流動資産合計	7,313,589	7,628,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	179,901	182,031
機械装置及び運搬具	156,800	176,964
工具、器具及び備品	48,898	73,166
土地	578,510	578,510
建設仮勘定	32,894	39,408
減価償却累計額	△147,482	△165,305
有形固定資産合計	849,522	884,775
無形固定資産		
のれん	32,384	31,485
その他	31,767	31,708
無形固定資産合計	64,152	63,193
投資その他の資産		
投資有価証券	2,982,057	3,172,036
差入保証金	59,071	102,382
繰延税金資産	11,690	11,817
その他	200	200
投資その他の資産合計	3,053,018	3,286,436
固定資産合計	3,966,693	4,234,405
資産合計	11,280,282	11,862,927

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,931	166,456
未払金	374,790	813,911
未払法人税等	30,507	29,999
賞与引当金	4,420	—
資産除去債務	6,884	6,886
その他	34,766	101,570
流動負債合計	622,300	1,118,825
固定負債		
長期借入金	21,700	21,700
退職給付に係る負債	8,357	6,398
資産除去債務	17,364	17,375
繰延税金負債	164,945	167,599
その他	317	—
固定負債合計	212,683	213,072
負債合計	834,984	1,331,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,796,493	4,810,691
資本剰余金	4,696,493	4,710,691
利益剰余金	947,977	1,001,860
自己株式	△212	△212
株主資本合計	10,440,752	10,523,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,800	△5,347
その他の包括利益累計額合計	△8,800	△5,347
新株予約権	13,347	13,347
純資産合計	10,445,298	10,531,030
負債純資産合計	11,280,282	11,862,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	700,670	1,161,658
売上原価	289,982	387,087
売上総利益	410,688	774,570
販売費及び一般管理費	369,480	714,965
営業利益	41,207	59,605
営業外収益		
受取利息	—	5,193
助成金収入	—	300
保険解約返戻金	—	7,760
還付消費税等	—	5,145
受取手数料	3,251	—
その他	1,453	2,945
営業外収益合計	4,704	21,344
営業外費用		
支払利息	997	65
株式交付費	29,311	—
その他	13	35
営業外費用合計	30,322	100
経常利益	15,590	80,850
税金等調整前四半期純利益	15,590	80,850
法人税、住民税及び事業税	11,565	26,261
法人税等調整額	△2,722	704
法人税等合計	8,842	26,966
少数株主損益調整前四半期純利益	6,747	53,883
少数株主利益	—	—
四半期純利益	6,747	53,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,747	53,883
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3,453
その他の包括利益合計	—	3,453
四半期包括利益	6,747	57,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,747	57,336
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	699,224	1,446	700,670	-	700,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	699,224	1,446	700,670	-	700,670
セグメント利益又は損失(△)	155,215	△30,750	124,465	△83,257	41,207

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△83,257千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケア事業」セグメントにおいて、平成25年11月に株式会社植物ハイテック研究所を子会社化したことに伴い、のれんを35,983千円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,161,520	137	1,161,658	-	1,161,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,161,520	137	1,161,658	-	1,161,658
セグメント利益又は損失(△)	239,953	△20,735	219,218	△159,612	59,605

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△159,612千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。